Panasonic®

取扱説明書

フレーム

品番　ET-PFD510

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ この「取扱説明書」とプロジェクターの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■ **ご使用前に「安全上のご注意」（3 ページ）を必ずお読みください。**

■ この取扱説明書は大切に保管してください。

JAPANESE

TQZJ436-2

もくじ

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。**

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

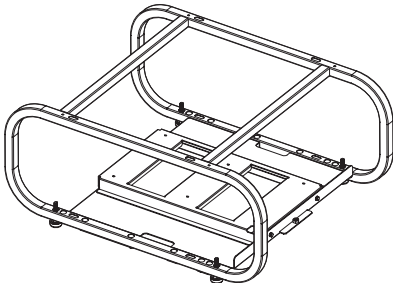
■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。**

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

	■ **フレームのねじは、不用意に取り外したり、緩めたりしない** （プロジェクターが落下して、けがの原因となります。）
	■ **強度の不足する場所に取り付けない** （落下などによるプロジェクターの破損や、大きな事故・けがの原因になります。）
	■ **湿気やほこりの多い所、油煙や湯気、熱の発生する所に取り付けない** （火災・感電の原因となることがあります。また、油により樹脂が劣化します。）
	■ **付属のねじ・金具類は、乳幼児の手の届くところに置かない** （誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。） ⇒万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
	■ **フレームの積み上げは 2 段までにする** （フレームが倒れたりしてけがの原因となります。）
	■ **取り付け作業は足場の安全を確保して行う** （倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。）
	■ **取り付け・設置作業は 2 人以上で行う** （プロジェクター本体の質量も考慮し、取り付け・設置作業は 2 人以上で行ってください。）

注意

	■ **プロジェクターの吸・排気をさまたげる場所に設置しない** （火災の原因となることがあります。）

お知らせ

●プロジェクターに別売品の固定焦点レンズ ET-D75LE90 を取り付ける場合は、本製品を使用することはできません。

構成一覧

本製品は、プロジェクターをデュアル設置する場合などに使用する専用のフレームです。

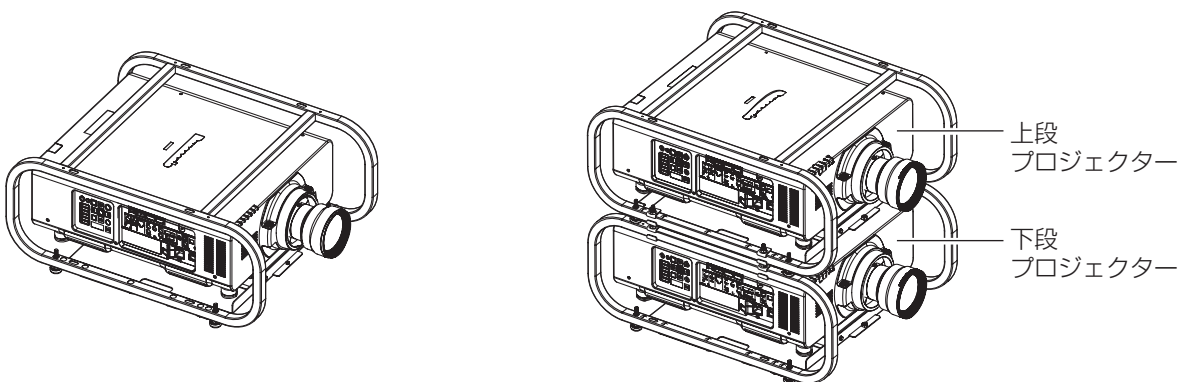
■構成部品一覧

品 名	外 観（数 量）
フレーム本体	1 個
ねじ・金具類	座金組み込みねじ（M6 × 30）…… 6 本 ナット（M10）………………………… 8 個 平ワッシャー（M10）……………… 16 個 補強金具（M10）…………………… 16 個 スプリングワッシャー（M10）……… 8個 アジャスターナット（M10）………… 4個 六角ボルト （M10 × 140、上下固定用）……… 4本

● 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
● ねじ類の締めつけトルクは、M6：4 ± 0.5 N・m　M10：20 ± 1 N・m で管理してください。
● ねじ類の締めつけの際は、トルクドライバー、トルクレンチなどを使用し、電動ドライバー、インパクトドライバーを使用しないでください。

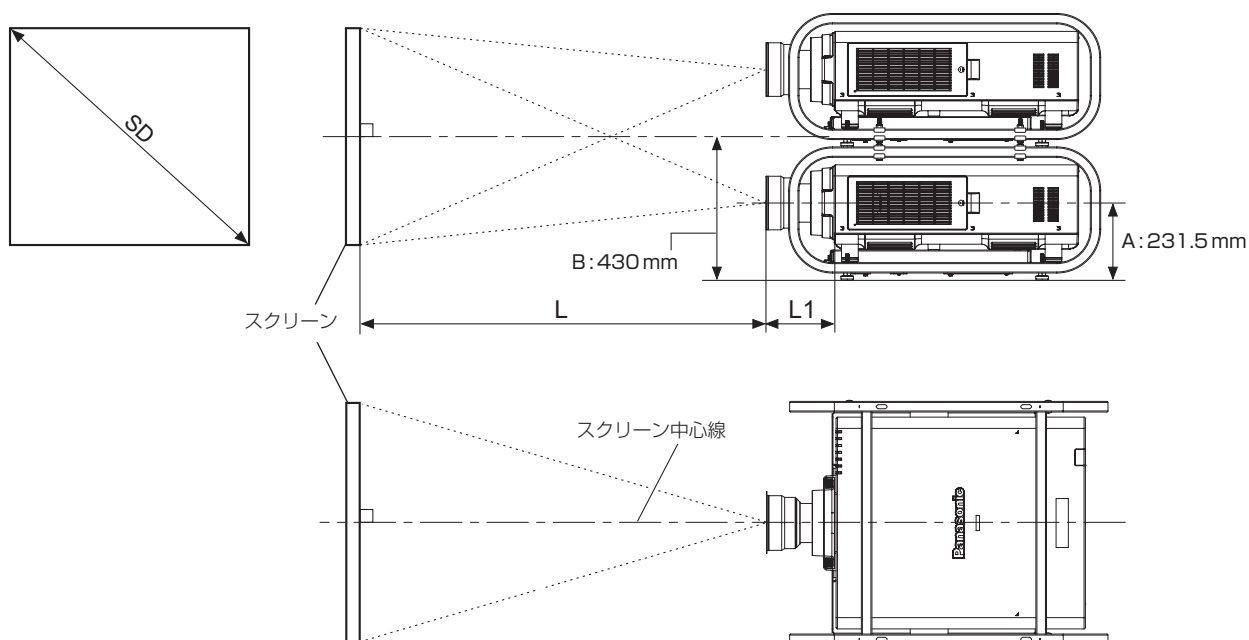
お知らせ

● デュアルスタック設置の場合、上記の他にスパナ、モンキーレンチなどの工具をご準備ください。

取り付け完成図

※デュアルスタック設置の例です。
デュアルスタック設置の場合は、新たにもう一台フレームが必要です。

投写距離について

スクリーンとプロジェクター間の投写関係寸法は下記の通りです。
下記の図や寸法を参考にしてプロジェクターの設置位置を決めてください。
なお、ズームレンズを使用する場合は、その機能により投写距離が調整できます。投写画面を確認しながら微調整を行ってください。

■投写関係寸法図

お知らせ

- このイラストは、投写画面のサイズと位置をスクリーンいっぱいに合わせることを前提に表現しています。
- このイラストは正確な縮尺ではありません。

L	投写距離
L1	レンズ突出寸法（プロジェクター前面～レンズ先端）
A	下段レンズの中心～下段フレーム設置面までの距離
B	上下レンズ間の中心～下段フレーム設置面までの距離
SD	投写画面サイズ

お願い

- プロジェクター本体後面の排気口をふさがないように 500 mm 以上のすき間をあけて設置してください。
- プロジェクター本体の左右に 500 mm 以上のすき間をあけて設置してください。
- 設置の際は、プロジェクターの取扱説明書「ご使用になる前に」をよくお読みください。

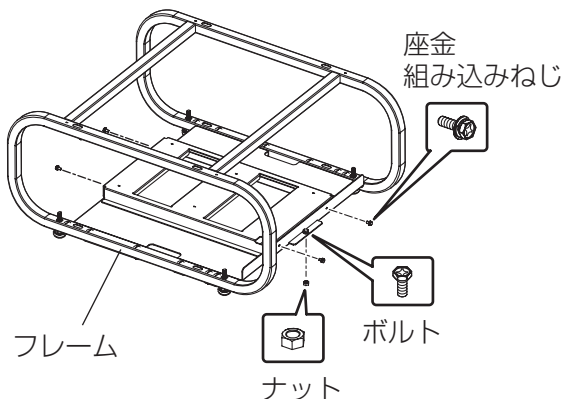
お知らせ

- 本書内のプロジェクターのイラストはイメージです。製品によって形状が異なる場合があります。

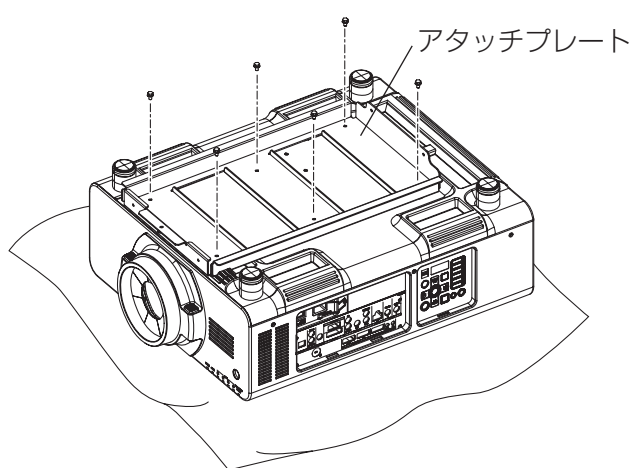
■投写関係寸法

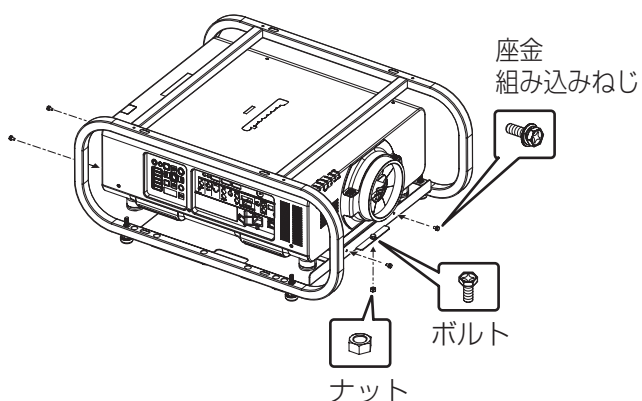
レンズ突出寸法（L1）の値、および投写レンズごとの投写距離（L）の計算式については、ご使用のプロジェクターの取扱説明書の「設置する」をご覧ください。

取り付け方

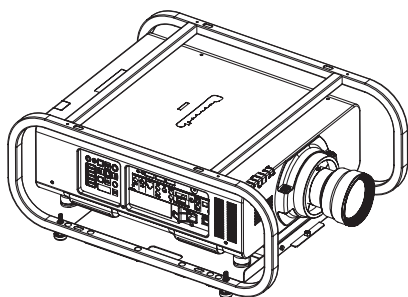
プロジェクターにフレームを取り付ける

1）フレームからアタッチプレートを取り外す。
※アタッチプレートを前後で固定している座金組み込みねじ（M6 × 16）4 本を外す。前面に取り付けてあるボルト（M6）とナット（M6）を外して、フレームからアタッチプレートを取り外す。

お願い

- 取り外したねじは、再度取り付けの際に必要になりますので無くさないでください。

2）プロジェクターの底面を上向きにして柔らかい布などの上に置く。

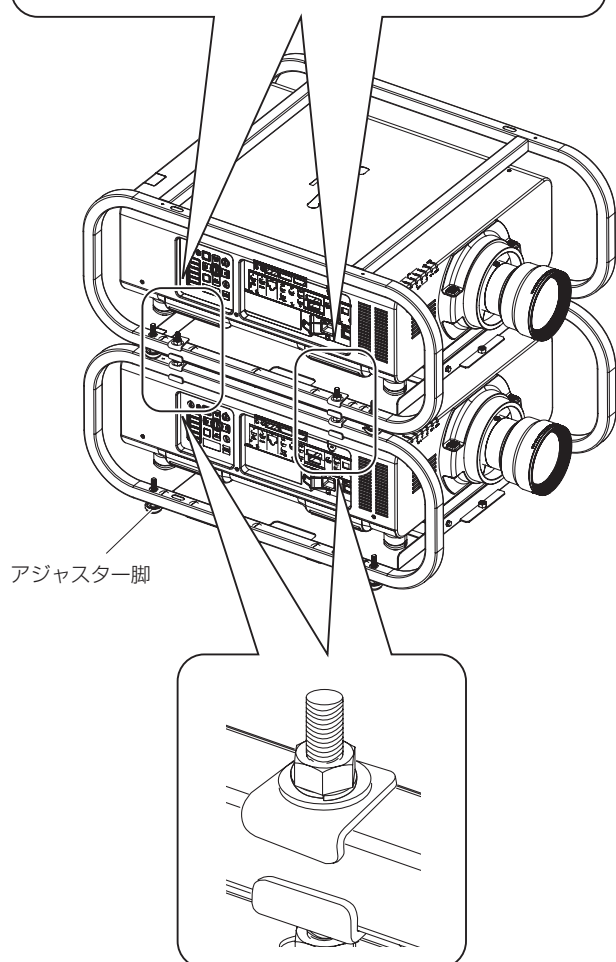
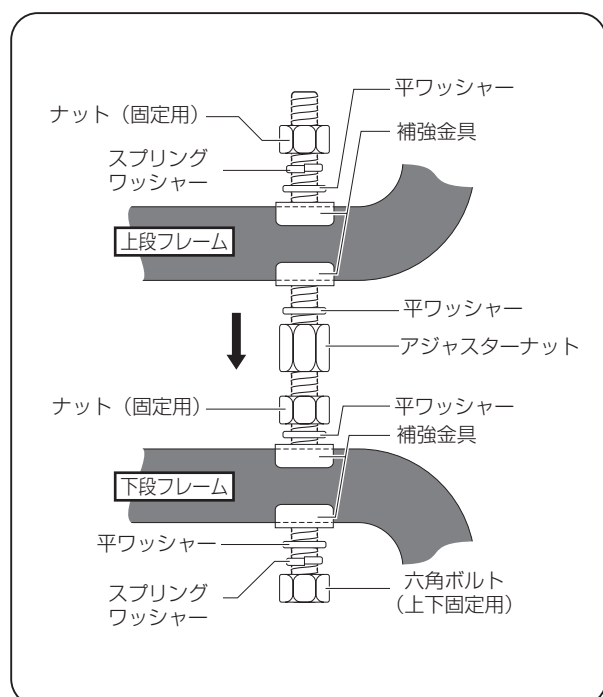
3）アタッチプレートをプロジェクター本体底面に付属の座金組み込みねじ（M6 × 30）6 本で固定する。

4）プロジェクターを底面が下になるように置き、フレームを装着する。
手順 1）で取り外した座金組み込みねじ（M6 × 16）4 本と、ボルト（M6）とナット（M6）でフレームに固定する。

お願い

- フレームを装着してボルトで固定する際は、手や指を挟まないようにご注意ください。

5）投写レンズを取り付ける。（取り付けかたは、プロジェクターの取扱説明書「投写レンズ（別売品）の取り付け／取り外しかた」をご覧ください。）

取り付け方（つづき）

上段プロジェクターを取り付ける

デュアルスタック設置の場合は、新たにもう 1 台フレームが必要です。
プロジェクターへのフレームの取り付けについては、6 ページの「プロジェクターにフレームを取り付ける」の手順を参照してください。

1）設置場所の強度と安定性を確認し、問題なければまず下段フレームのアジャスター脚を調整して、下段プロジェクターを水平に設置する。
2）下段フレームの取り付け穴（4 か所）に六角ボルト（M10 × 140、上下固定用）・スプリングワッシャー・平ワッシャー・補強金具・ナット（固定用）を図のように取り付け、ナット（固定用）で下段フレームと六角ボルト（上下固定用）をしっかりと固定する。
3）アジャスターナットと平ワッシャー・補強金具を六角ボルト（上下固定用）に取り付ける。
4）上段のフレームの取り付け穴（4 か所）と下段フレームの六角ボルト（上下固定用）の位置とを合わせて、上段のフレームを下段フレームにのせる。
5）アジャスターナットで上段プロジェクターを下段プロジェクターに対して水平に固定する。
6）補強金具・平ワッシャー・スプリングワッシャー・ナット（M10、固定用）を図のように取り付ける。
7）ナット（M10、固定用）を締めつけ、上段フレームをしっかりと固定する。

お願い

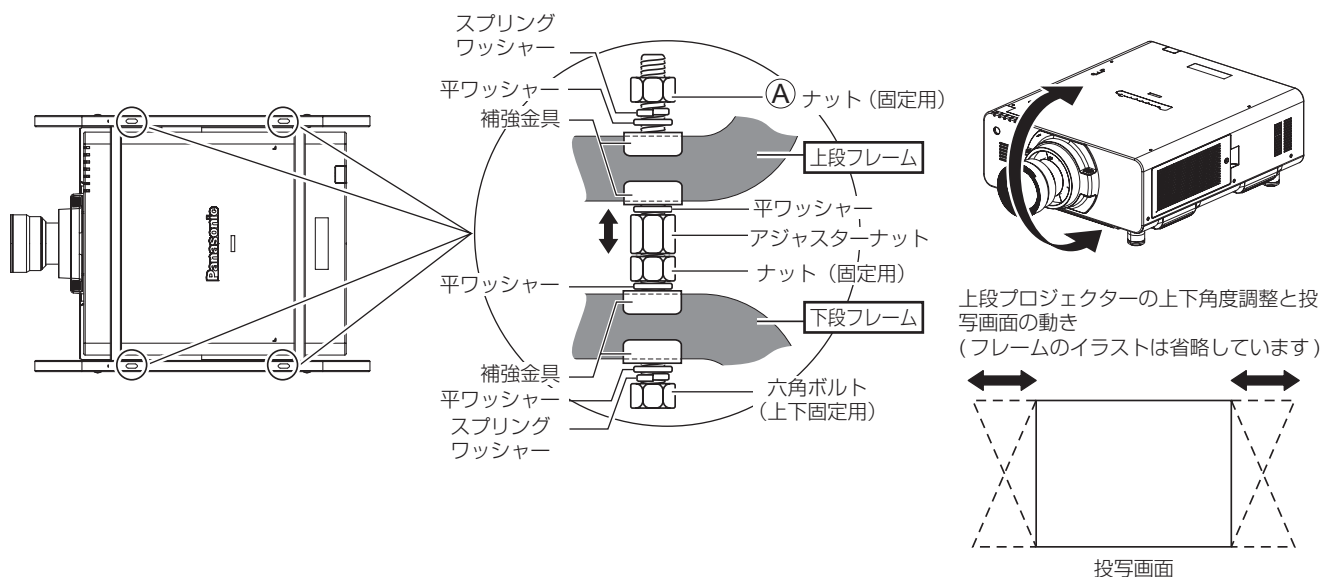
- フレームの取り付け穴は、フレーム同士の取り付け以外に使用しないでください。

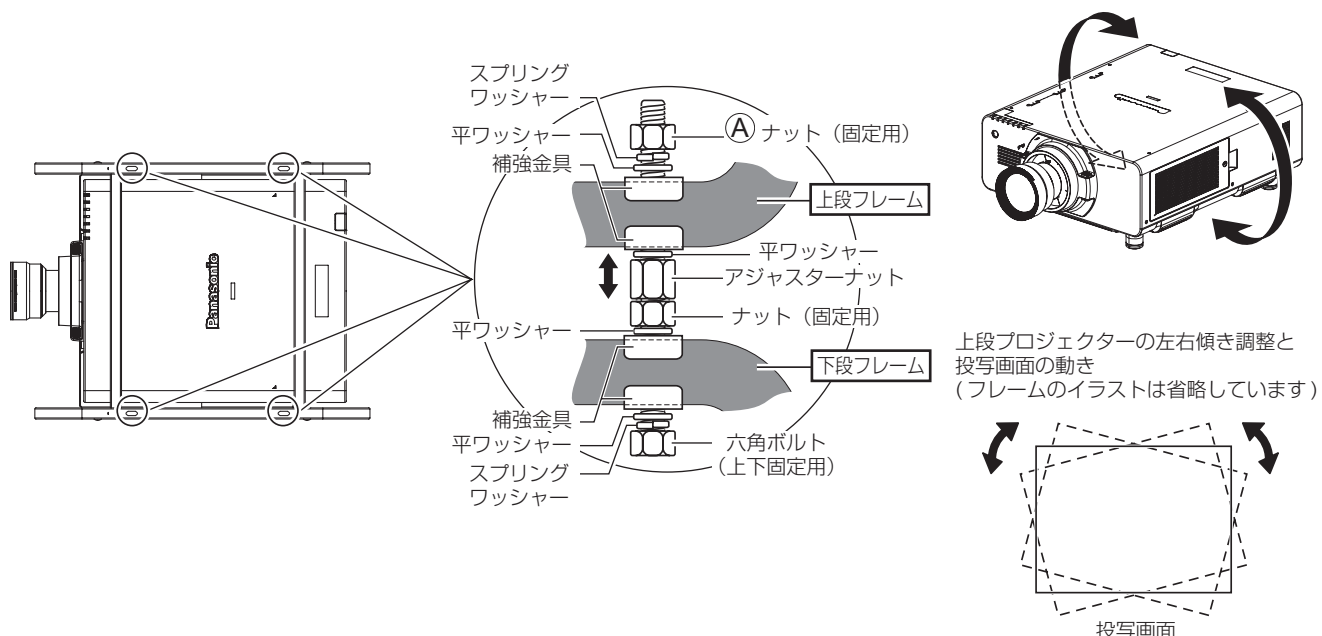
上段プロジェクターの調整

スクリーンに対して画面サイズ、位置、フォーカスを調整した下段プロジェクターの投写画面上に、上段プロジェクターの投写映像を重ね合わせるために、下記の手順にしたがって上段プロジェクターの角度調整を行います。角度調整は上段プロジェクターの投写画面のみ可能です。

- プロジェクターの取扱説明書を参照のうえ、上段プロジェクターから映像を投写し、ズームやフォーカスで画面サイズとフォーカスの仮調整をしてから、角度調整を行ってください。
- 上段フレームのナット（固定用）Ⓐ を緩めてから、アジャスターナットを調整してください。

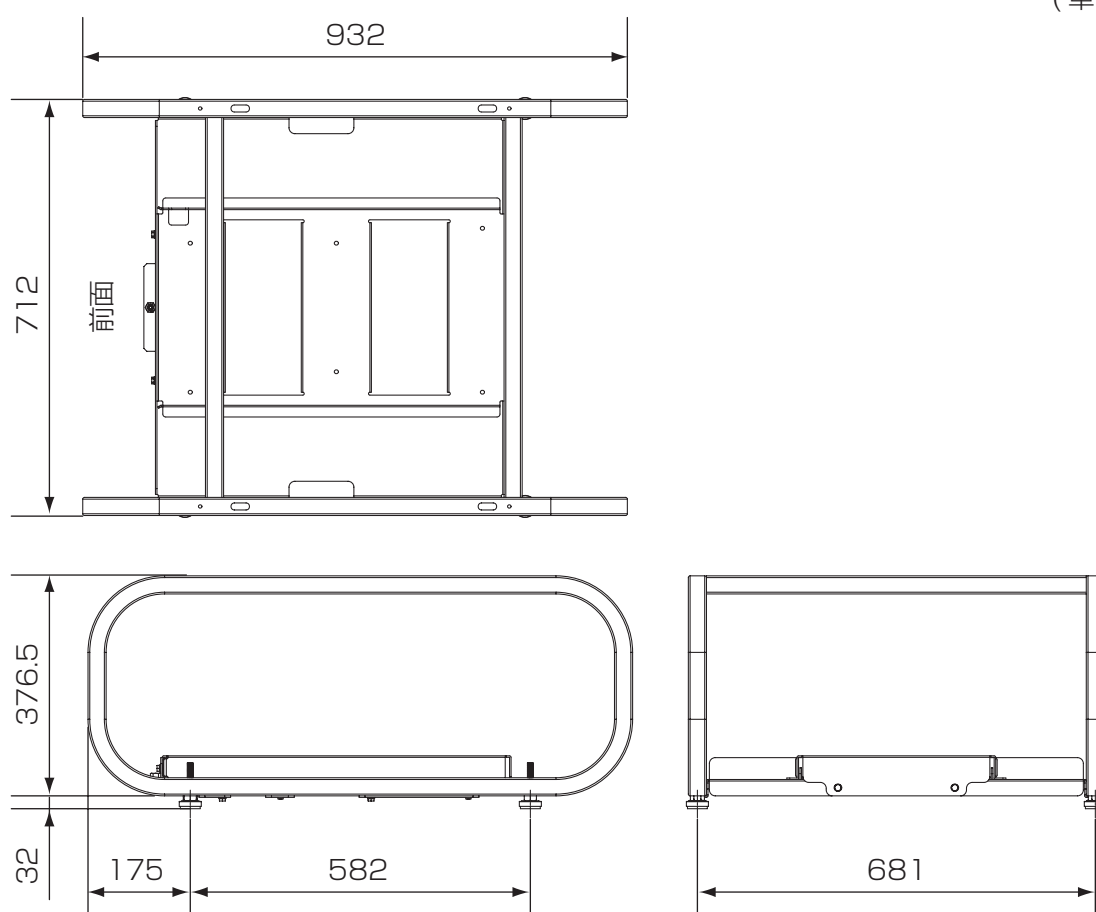
1) 上下の角度を調整する

アジャスターナット（4 か所）を回してフレームの上下角度の調整を行い、投写画面の垂直台形ひずみを補正します。アジャスターナットは、前側の左右、後側の左右を各々同時に同じだけ回してください。

2) 左右の傾きを調整する

アジャスターナット（4 か所）を回してフレームの左右傾きの調整を行い、投写画面の回転を補正します。アジャスターナットは左側の前後、右側の前後を各々同時に同じだけ回してください。

3) 調整 1)、2) の手順を繰り返し、投写映像を合わせ込む

4) 調整が完了したら固定用のナット Ⓐ をしっかりと締めつけて調整がずれないように固定する

外形寸法

（単位：mm）

仕様

調整範囲	上下補正角度：± 1.5° 左右傾き補正角度：± 1.5°
組み立て外形寸法	横幅　712 mm 高さ　408.5 mm（脚最小時） 奥行　932 mm
質量（プロジェクターを除く）	約 19.4 kg

お願い

- 包装材料は製品を取り出したあと、適切に処理してください。

■廃棄について

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で正しい廃棄方法をお問い合わせください。

パナソニック株式会社　ＡＶＣネットワークス社

〒 571-8503　大阪府門真市松葉町 2 番 15 号　電話 0120-872-601

SS0512HK2075 -PJ
日本印刷